

屋上緑化で温暖化防止に貢献。 ブルー・ジー・プロ株式会社



一般的に屋上緑化システムには、庭園風に設える散策型と、省エネ効果を第一の目的とした省管理型の2つのタイプがある。同社の「てまいらず」は、省エネ効果を目的とした省管理型。施工から維持、管理まで徹底的

1997年、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減目標を提示した「京都議定書」の決議以来、地球規模で環境問題への関心が高まり、この流れを受けて省エネをキーワードとした商品が注目されるようになった。空気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を排出する植物を屋上に配することで地球温暖化防止に貢献する「屋上緑化」もその一つだ。灘区に本拠地を持つブルー・ジー・プロ株式会社は、屋上緑化のシステム「てまいらず」を開発、販売する企業として2004年に創業した。

「てまいらず」は、乾燥に強く丈夫な多肉植物メキシコマンネングサを採用しました。そのためローメンテナンスで維持できます。施工も、メキシコマンネングサを植え付けた500mm角のトレーを専用の連結具で止めるだけです」（北村社長）。

メキシコマンネングサが吸収する二酸化炭素が地球温暖化防止に貢献しているというより、むしろ夏など、屋上の太陽熱を緑化システムが遮断することで室温の上昇が抑えられ、その結果、エアコンの使用率が下がり、電気使用量が低減することで温暖化防止に貢献しているそうだ。創業から現在まで、約110件、約3万㎡の屋上を緑化した。「今後は、屋上緑化だけでなく、二酸化炭素の削減に貢献できるさまざまな提案ができる企業を目指したいですね」（北村社長）。

地球

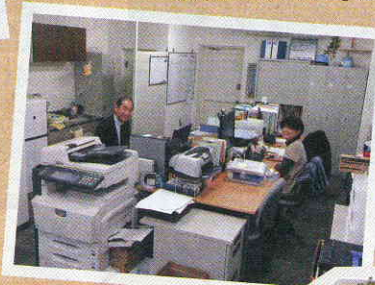


屋上をみどりに！



屋根面に植物を配する屋上緑化システムを導入することで、屋根面から受ける太陽熱をさえぎると室温が下がる。それにより空調負荷が下がり、電気の使用量が低減できる。使用電力が低減することで年間の二酸化炭素排出量の削減につながる。

「メキシコマンネングサの栽培を、県内の複数の農家と契約することで、休耕田の活用にもつながりました」（北村社長）。



ブルー・ジー・プロ株式会社

●住所 / 神戸市灘区高徳町5-6-9
●事業内容 / 緑化事業の計画、施工、維持管理及びコンサルタント、環境に関する調査及びコンサルタント。